乙訓手をつなぐ親の会　会報　No.137

2023.11　発行

秋の気配が色濃く感じられる頃、いかがお過ごしでしょうか。
朝夕は冷え込み、体調を崩される方もおられるそうです。睡眠、休養、栄養、そして無理のない程度の運動をして、これからも元気に過ごしたいですね。
今年度は11月に手作りリース教室を開催します。ぜひご参加下さい。

長岡京市共生型福祉施設事業「診療所」設置に伴う
『医療についてのアンケート』のご協力ありがとうございました！！

8月に Google フォームの電子アンケートと書面のアンケートを配布しました。
アンケートは、乙訓の障害者福祉を進める連絡会、ぼちぼちサークル、乙訓の里親の会、向日が丘支援学校の在校生卒業生の保護者、知人、友人とたくさんの方のご協力があって、97件のご回答をいただきました。
本当に有難うございました。身近な医療「診療所」に対する、皆さんの関心と期待の高さを感じます。
10月5日に長岡京市福祉政策室との行政懇談を行い、アンケート結果全件と資料を提出いたしました。

アンケートは、福祉政策室を通じて、障がい福祉課、保健所、京都府の障害者支援課に配布いただきました。

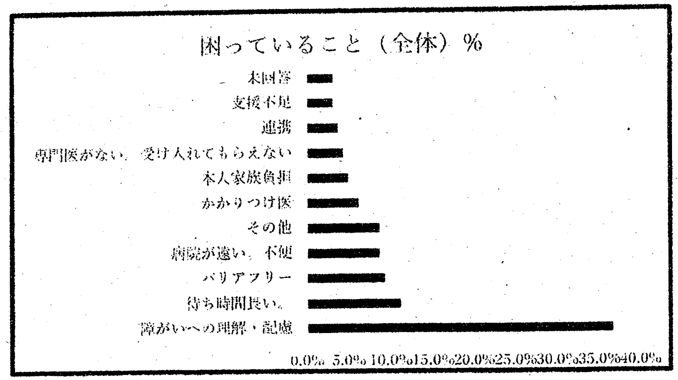
アンケート結果

〈提出件数97件〉
○本人障がい者との続柄　保護者(89.7%)本人(10.3%)
○本人障がいの年齢　30才～64才(42.3%)19才～29才(39.2%)就学後～18才(11.3%)　他
○本人の障がいの種類(重複回答可)　知的障がい(73.2%)身体障がい(肢体)(36.1%)
精神障がい(発達障がい含む)(24.7%)　他

(1)医療を受診されて困ったこと困っていることはありますか　**90.7%**

(2)どういうことに困られましたか
○障がいへの理解・配慮(36.6%)…「受診拒否された」「話を聞いてもらえない。」「馬鹿にされた。」
○バリアフリー　(9.3%)…「待合室にバギーを入れる雰囲気ではなく、ずっと抱いていた。」
「ほとんど目が見えないので病院で迷子になった。」
○かかりつけ医(6.2%)…「かかりつけ医になってもらえない。」　他

(2)どういうことに困られましたか



(3)医療機関での対応や設備などで良かったこと嬉しかったことはありますか　**70.1%**

(4)どういうことが良かったこと嬉しかったことですか
○子供が納得するまで丁寧に子供に対して説明してくれた。
○障がいのある人の診察枠があり、待つ間、余計な緊張などしなくていい。
○通院が困難なときに往診をして下さった。「休診日でも困ったときは電話してもいいよ。」と言って下さったこと。　他

(5)診療所に望む医療とはどういうものですか
○地域で暮らす当事者が困ったときに、いつでもかかれる医療。住み慣れた地域の自宅での暮らしをサポートできる医療
○安心してすべての医療を受けられる場所。
○子供から大人まで障がいのある方が安心して受診できる診療所
○医療全般について緊急性を判断していただいて必要があれば身近な専門病院を紹介いただける病院
○学校との連携。医療的ケア児へのサポート　他

(6)診療所に必要な診療科
内科(13.1%)整形(11.1%)歯科(10.1%)眼科(9.1%)精神科・神経科(7.6%)
耳鼻科(7.1%)小児科(6.6%)皮膚科(4%)心療内科(3.5%)総合内科(3%)
外科(3%)リハビリ(3%)　他